



市民による身近なまちづくりのアイデアを選ぶ 令和6年度2次コンテストを開催します！（まち普請事業）



—私たちのまちを 私たちでつくる きっとまちが好きになる—

横浜市では、市民の皆様が主体となって行う、地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援・助成を行う「ヨコハマ市民まち普請事業」を実施しています。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、最大500万円の整備助成金を交付し、市民の提案の実現を応援します。

この度、1次コンテストを通過し、グループ丸となって磨き上げた10件の提案が施設整備の実現に向けて2次コンテストに臨みます。（提案概要は次頁以降に掲載）

提案グループは2次コンテストに向けて打合せを重ね、提案内容の整理や地域での合意形成などを進めてきました。また、先輩グループに相談できる活動懇談会への参加や、まちづくりの専門家であるまちづくりコーディネーターや市職員による伴走支援などを通じて、まちへの思いがカタチになってきています。

■2次コンテスト 概要

- 1 開催日時 令和7年1月26日（日） 10時15分～17時45分（予定）
- 2 開催場所 横浜市役所1階アトリウム \\\入場無料、申込不要で観覧できます\\/
//
- 3 内容 ①グループによる提案発表
②質疑応答
③審査員による投票
④結果発表
⑤交流タイム（観覧の方も参加可能）

YouTubeLIVE 配信も実施します!!
視聴はこちらから。
※アーカイブ配信はありません。



■令和5年度 コンテストの様子



<提案発表>



<質疑応答>



<結果発表>

※取材をご希望の方は1月24日（金）正午までに最終頁のお問合せ先へご連絡ください。

◆審査基準◆
創意工夫・実現性
公共性・費用対効果
地域まちづくりへの発展性

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



■2次コンテスト整備提案一覧

発表順	区名	提案グループ名	整備提案名	提案概要
				まちづくりコーディネーター
1	港北	師岡熊野神社「いの池」愛護会	いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持	かい堀りなどの清掃活動を続けてきた、地域の人々から愛されている「いの池」の水環境を改善するため、導水管の整備、老朽化した石積護岸の修復、活動掲示板の新設等を行う。 まちづくりコーディネーター：大澤 浩一氏
2	金沢	あおぞら広場をつくる会	あおぞら広場	あおぞら谷津保育園に、“顔の見える関係性”を広げるために、誰もが立ち寄りやすい場としてパーゴラやベンチ、カウンターを設け、保育園と地域をつなぐ場を整備する。 まちづくりコーディネーター：鈴木 健夫氏
3	鶴見	生麦事件参考館リユースプロジェクト	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり	閉館した私設資料館「生麦事件参考館」を地域の交流拠点として再開し、来場者が安全に利用できるような改修や、照明・空調の整備など、鑑賞環境を整える。 まちづくりコーディネーター：山路 清貴氏
4	保土ヶ谷	二つ台みーとみーとPJ	シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備	横浜国立大学のすぐそばにあり、地域のシンボルのような場所でもあった元精肉店の空き店舗を改修し、学習塾(本事業整備対象外)とシェアキッチンを備えた多世代交流拠点を併設した地域拠点を整備する。 まちづくりコーディネーター：大木 淳氏
5	金沢	『あつまれ!なみき』ワーキンググループ	あつまれ!なみきの・みんなできずくみらい	商業施設の立地や整備場所の広さを生かし、地域住民がライフステージに関わらず、自然に集まれ、悩みを共有できる居場所を作る。地域の人が活用しやすいフリースペースやキッチンを整備する。 まちづくりコーディネーター：松本 道雄氏
6	港南	いちょう坂商店街カフェ	集い・学び・楽しむ。カフェで助け合いの輪をつくる。	商店街にある空き店舗を活用し、多世代が気軽に立ち寄り、商店街のマイスターによる体験講座を開催したり、情報発信ができるコミュニティカフェを整備する。 まちづくりコーディネーター：内海 宏氏
7	金沢	「アスレの森」を残す会「あすのこ」	あつまれ「アスレの森」	地域で見守り、保全してきた瀬ヶ崎小学校の裏山である「アスレの森」のふもとに、休み時間に森での児童の遊びを見守るためのデッキや地域住民など多世代で集まる活動拠点の広場を整備する。 まちづくりコーディネーター：櫻井 淳氏
8	保土ヶ谷	パレット境木ベース運営委員会	懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点	地元で長年愛され惜しまれながら閉店した商店街の空き店舗を活用し、多世代が自由に通え、地域交流を楽しめるスペースやシェアキッチン&カフェを整備する。 まちづくりコーディネーター：治田 友香氏

次頁



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



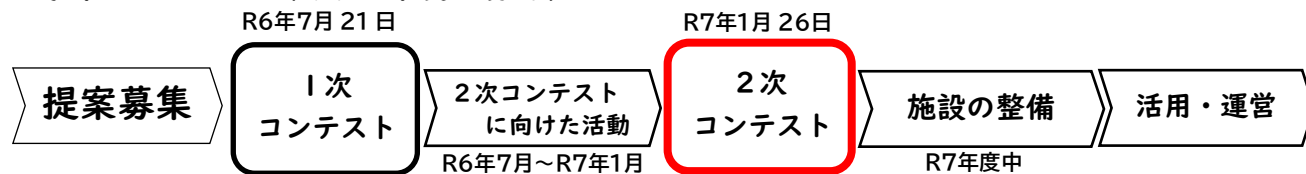
9	南	弘明寺 チーム NECTA COLLECT	生き辛い世の中を生きる青少年のための居場所作り	就労支援施設の使用外の時間帯を、様々な課題を抱える青少年の居場所として開放する。菓子やスイーツの製造体験を通じて、将来的な就業や自立を目的とする。 まちづくりコーディネーター：山本 耕平氏
10	港北	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト	熊野神社市民の森に近接する戸建て住宅と屋外空間を、子どもと子育て世代を中心とした、地域に開いたコミュニティスペース(地域最小の公園・公民館)とする。 まちづくりコーディネーター：橋本 忠美氏

※各グループの提案書は、2次コンテスト当日の9時から
 ヨコハマ市民まち普請事業のウェブページ(イベント情報ページ)に掲載します。
 URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/machibushin/event.html>



<参考>

■事業スケジュール(令和6年度応募分)

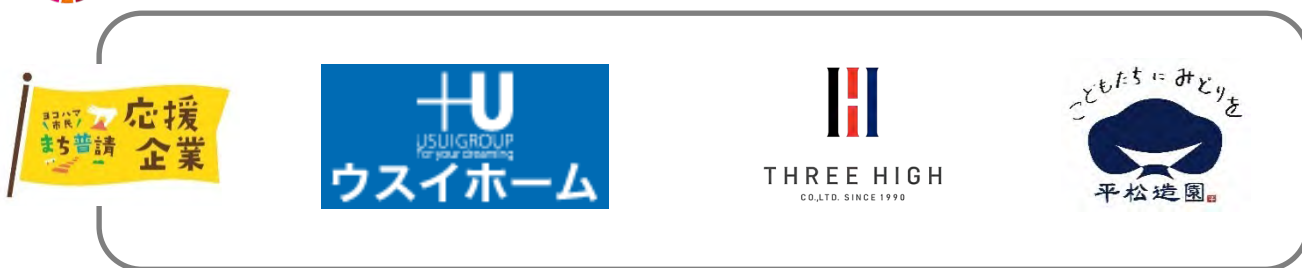


審査員は横浜市地域まちづくり推進条例に基づき設置された「ヨコハマ市民まち普請事業部会」の委員8名です。(学識経験者3名、地域まちづくりについて専門的知識を有する者3名、市民公募により選出された2名)

<令和6年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業の皆様>



まち普請事業は、市民主体のまちづくりの支援を通じてSDGsの目標達成を目指す事業です。SDGs推進に精力的に取り組む以下の企業の皆様からの応援をいただいています。



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 村瀬 亮二 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

